

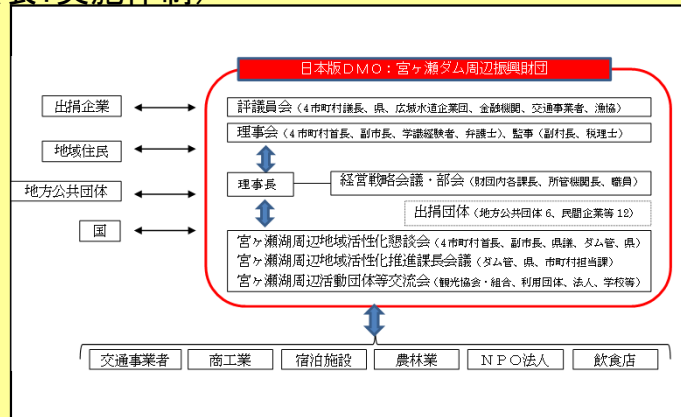
【区域】 神奈川県 (全域)愛川町、清川村
(一部地域)相模原市、厚木市
【設立時期】 平成4年10月1日

【代表者】 理事長 森田 茂實

【マーケティング責任者】
常務理事兼事務局長 宮崎 仁男

【職員数】 121名
【連携する主な事業者】
各市町村観光協会・組合、小田急、神奈中等

(表:実施体制)



(表:KPI(実績・目標)) 外国人観光客は今後検討

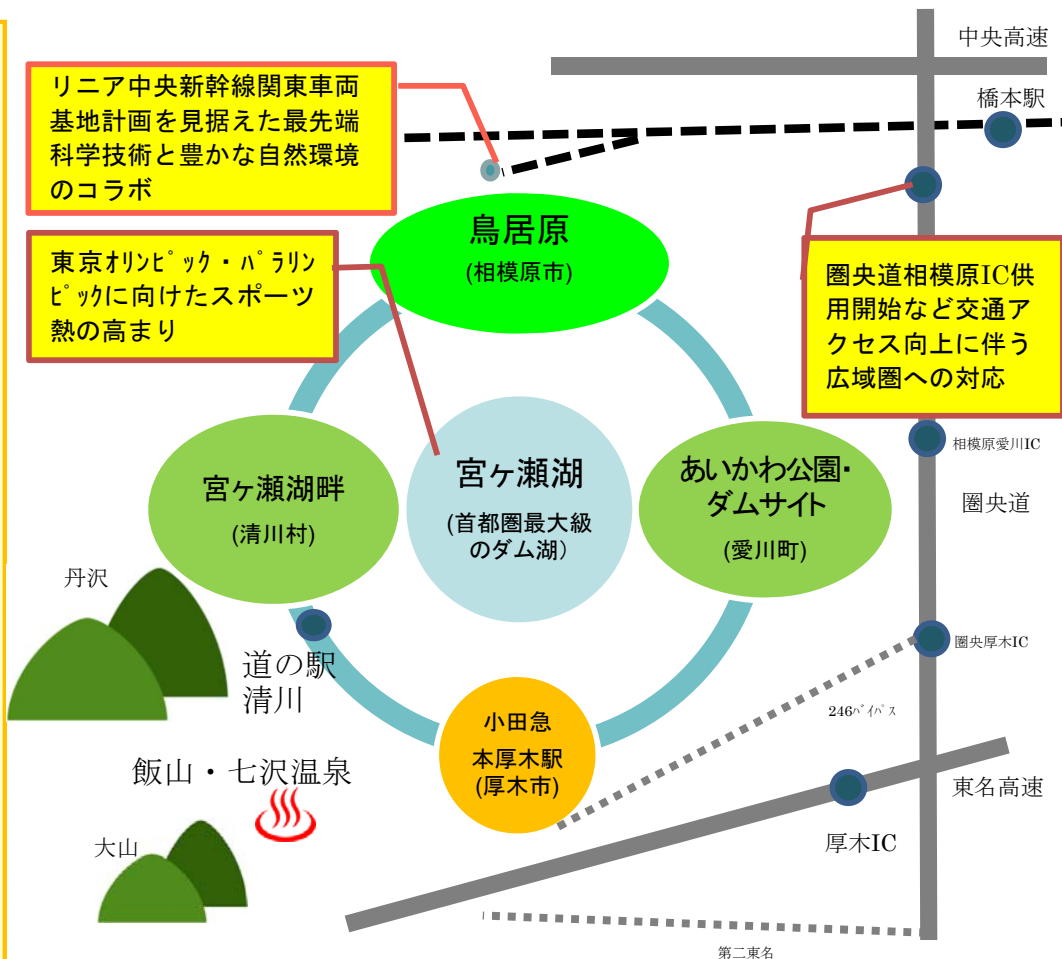
	27年(度)	28年(度)	29年(度)	30年(度)	31年(度)	32年(度)
旅行消費額	1,135,644千円	1,139,000	1,147,000	1,155,000	1,164,000	1,171,000
延べ宿泊者数	83千人	84	84	85	85	85
来訪者満足度	80.3%	81	81	82	82	82
リピーター率	86.9%	87	87	87	87	87

A(観光施設)に関する取組

- 総合案内・ワンストップ機能の強化
広域圏に向けた広報戦略の実施
みやがせミーヤ館ワンストップ機能充実
- 3拠点の回遊性の向上
湖上交通である遊覧船の活用
ロードトレイン、インクラインの乗物運行
- 楽しみながら健康増進ができる環境づくり
グランドゴルフ、自転車の駅
レクリエーション・アスレチック施設整備
- 半原地域における観光・産業連携拠点
づくり構想

B(自然)に関する取組

- 水源環境理解促進事業
自然観察会、自然体験型イベント
花の日(宮ヶ瀬・あいかわ公園)
宮ヶ瀬自然ガイドの育成・活用
- 森と湖の中での本格的なスポーツ体験
宮ヶ瀬湖24時間リレーマラソン
清川やまびこマラソン、宮ヶ瀬湖マラソン
大会、東丹沢トレイルレース
- カヌーの宮ヶ瀬事業の充実
カヌースクール、レンタルカヌー、Eポート
- 自然公園、都市公園の維持管理



C(文化)に関する取組

- 自然環境や地場産業と結びつけた
体験学習の場
工芸工房村
愛川繊維会館レインボープラザ
- 宮ヶ瀬湖周辺の自然や歴史の情報発信
水の郷交流館(清川村)
愛川町郷土資料館
- 土木技術の粋を結集した首都圏最大級
ダム、県内初のメガソーラ、最先端の
科学技術であるリニア計画などの活用

D(イベント・商業施設)に関する取組

- 地域活性化に向けた魅力あるイベント
みやがせフェスタ、伝統工芸体験
宮ヶ瀬クリスマス、あいかわ公園つつじ
まつり、ふるさとまつり花火大会 等
- 道の駅清川、水の郷商店街、鳥居原ふれ
あいの館など、観光商業施設との連携
- 宮ヶ瀬オリジナルグッズの充実
かやねずみ、カジカガエル等をモチーフに
した独自商品の充実
- 宮ヶ瀬へのアクセス上にある飯山・七沢
温泉施設との連携